

# 生涯教育研修活動報告書

輸血検査研究班

- 1 実施日時：2024年7月28日 9時00分～16時30分
- 2 会場：公立大学法人 埼玉県立大学 点数：専門教科—20点
- 3 主題：令和6年度 輸血検査実技研修会  
午前の部：新人技師や日当直で輸血に携わる技師必見！！血液型検査の基礎を理解して、スキルアップを目指しましょう！  
午後の部：不規則抗体検査に必要な技術と考え方を実践形式で学びましょう！
- 4 講師：輸血検査研究班班員  
久保居 由紀子氏 (JCHO 埼玉メディカルセンター)
- 5 協賛：なし
- 6 参加人数：会員 32名 賛助会員 0名 非会員 0名
- 7 出席した研究班班員：  
宮澤翔子、岩崎篤史、岸健太、廣田渉、志村祥太、大垣秀友、佐々木翔太
- 8 研修内容の概要・感想など  
今年度の実技研修会は午前の部を血液型検査、午後の部を不規則抗体検査に分けて行った。午前の部では基本操作の習得を目的とし、赤血球浮遊液の作製法や試薬検体の分注などの注意点を中心に3検体の血液型検査を実施した。参加者の手技と凝集の見方、結果の解釈について確認しながら、異常反応に対する原因や追加検査、輸血の対応について各班で話し合い、結論を出すことができた。  
午後の部では2検体に対して不規則抗体検査スクリーニングから同定検査を実施しつつ、実技の合間に筆記の課題にも取り組んだ。基本操作はもちろんのこと、消去法から追加検査や適合血の選択まで指導を行った。  
今回の研修会では輸血業務を始めて間もない技師や他業務を兼任している技師が多く参加していたため、ルーチン業務で感じている疑問点や各施設の現状などについて意見交換している場面もみられ、参加者同士でより高め合う研修会になった。輸血検査の自動化が進んでいく中でも、正しい手技と解釈・対応は必須である。参加者には研修で習

得したことを各施設で実践し、安全な輸血療法に貢献することを期待したい。



提出日：2024年8月6日

文責：岸健太